

ビッグスロットルボディーキットΦ 28 取扱説明書

製品番号 03-05-0169

適応車種 CRF110F (JE02-1000001 ~)

適合条件 ハイパー ECU 装着車



Here is english manual.

Can be view the pdf data of instruction English manual by scanning the TWO-DIMENSIONAL CODE.

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。

◎取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。

◎製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。

(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)

◎再使用する部品に關し、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品の物をご使用下さい。

◎当製品はクローズド競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、適法運転を心掛けて下さい。

(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

◎当製品はノーマル ECU には対応していません。必ず車種専用のハイパー ECU と同時装着し、仕様にあったプリセット MAP を基準にご使用下さい。

～特 徴～

○純正スロットルボディーΦ 19mm からビッグスロットルボディーキットΦ 28mm に交換する事でノーマル車、ボアアップキット装着車の出力を向上させる事が可能で、ノーマルエアクリナーボックスを利用出来る為、オフロードの過酷な状況でも安心してご使用頂けます。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落の原因となります。)

■エンジンの回転中は、スロットルボディー吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。(火炎が噴射する事があり、ケガ、火傷の原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行って下さい。(火災、爆発等につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

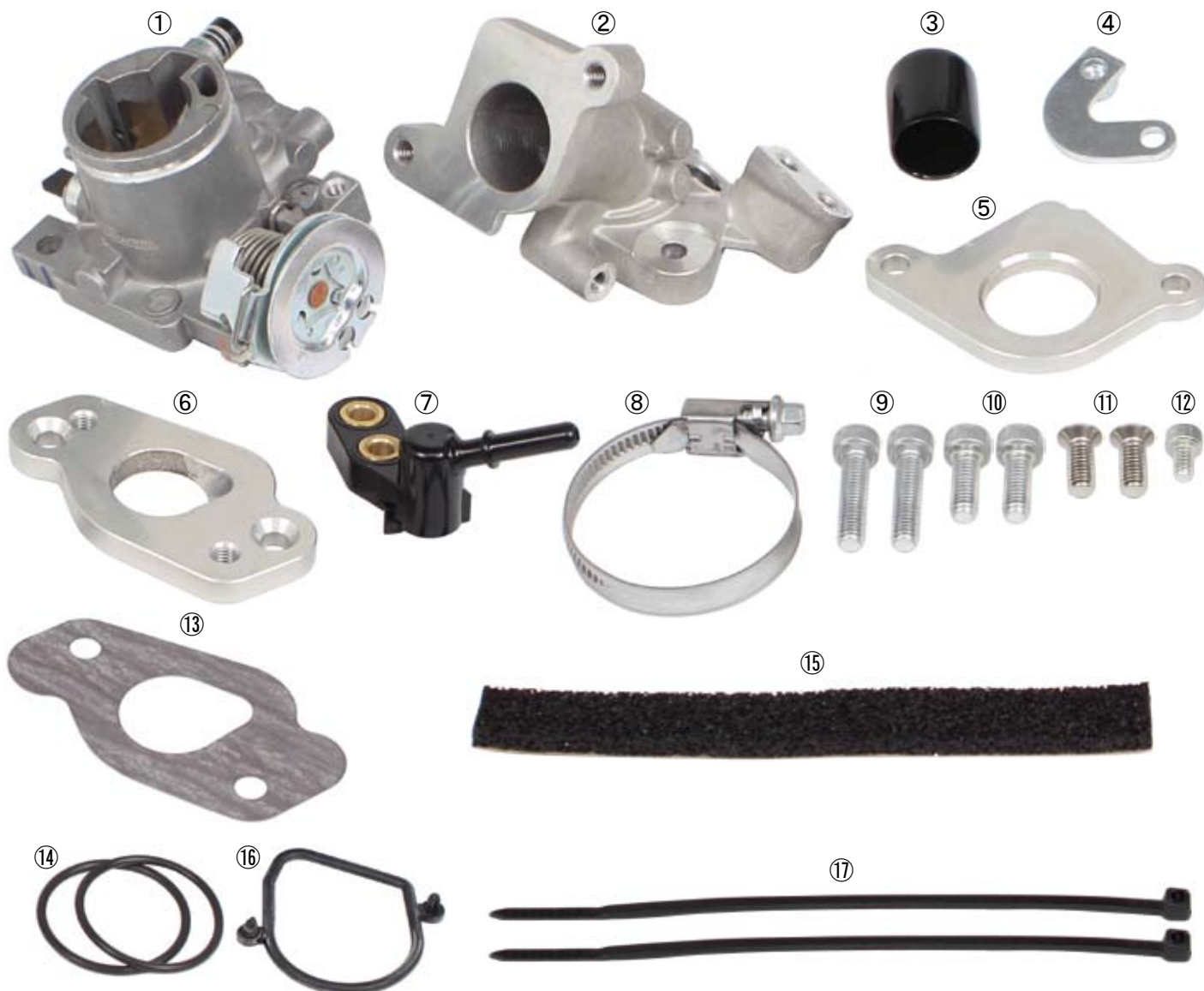
◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1 ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



番号	部品名	個数	リペア品番
1	ビッグスロットルボディー	1	
2	インタークマニホルド	1	
3	キャップ Φ 19	1	00-00-0286
4	ステー	1	
5	アダプター	1	
6	インレットアダプター	1	
7	インジェクタージョイント	1	00-03-0017
8	バンド 32-50/9	1	00-00-0014
9	ソケットキャップスクリュー 6x25	2	00-00-0722 (5 ヶ入り)
10	ソケットキャップスクリュー 6x16	2	00-00-0810 (5 ヶ入り)
11	小頭皿ネジ 6x15	2	00-00-0410 (6 ヶ入り)
12	ソケットキャップスクリュー 5x8	1	00-00-0321 (5 ヶ入り)
13	ガスケット	1	00-03-0018
14	Oリング 29mm	2	00-02-0406
15	クッション	1	00-00-0299
16	パッキン	1	00-03-0019
17	結束バンド 150mm	2	00-00-0135 (10 ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。

品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さい
ますようお願い致します。

※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。

使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

◇水平な場所でメンテナンススタンド等を使用し、車両をしっかりと安定させる。

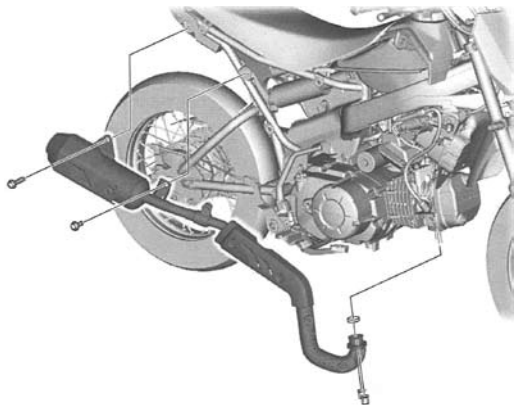
●外装部品の取り外し

◇純正サービスマニュアルを参照し、外装類を取り外す。

●（ノーマル）エキゾーストマフラーの取り外し

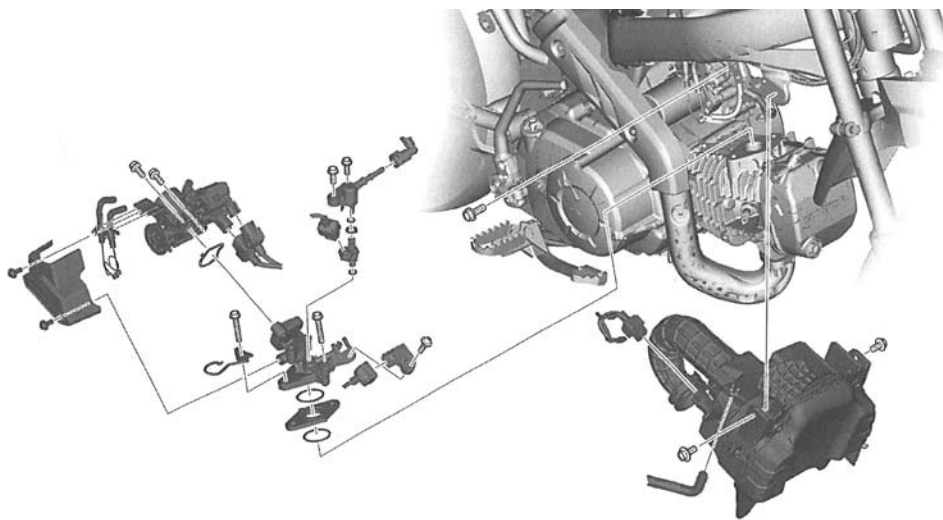
※エキゾーストマフラーが変更されている場合は、そのエキゾーストマフラーの取り扱い説明書に従う事。

◇純正サービスマニュアルを参考にして、エキゾーストマフラーを取り外す。



●エアクリーナーケース、インレットパイプ / スロットルボディーの取り外し

◇純正サービスマニュアルを参照し、エアクリーナーケース、インレットパイプ / スロットルボディーを取り外す。



○純正マニホールドを取り外す際、エンジン内部に砂等がポート内に入らない様ウエス等を使用し作業を行って下さい。

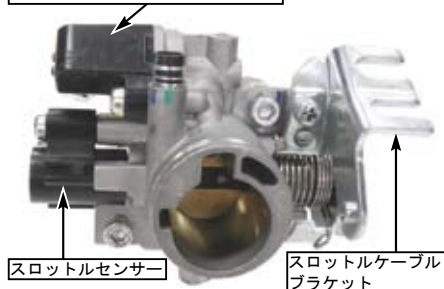
○写真を参考に、純正スロットルボディーからスロットルケーブルブラケット、ファストアイドルソレノイドバルブ（Oリング・バルブシート / スプリング）、スロットルセンサー（Oリング）を取り外し①ビッグスロットルボディーに規定トルクで締め付けます。

※①ビッグスロットルボディーに付いているスロットルケーブルブラケットは使用しません。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

トルクスクリュー / スクリュー
トルク：3.4N・m (0.35kgf・m)

ファストアイドルソレノイドバルブ



スロットルセンサー

スロットルケーブル
ブラケット

○⑤アダプターの溝に、⑭Oリング29mmを配置し、

①ビッグスロットルボディーには、⑯パッキンが

確実にボディーの溝に入っている事を確認し、

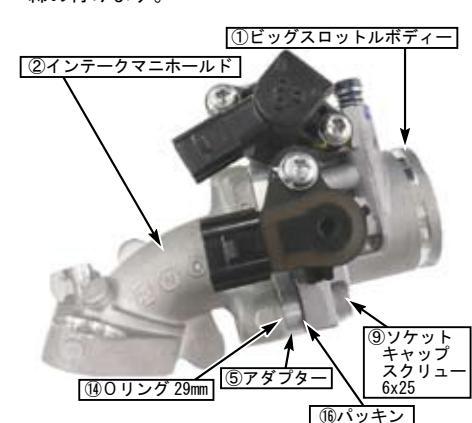
⑨ソケットキャップスクリュー 6x25 を使用し、

①ビッグスロットルボディー、⑤アダプター、

②インテークマニホールドの順に仮止めします。

※この際⑭、⑯のパッキンが溝からズレない程度

締め付けます。



○⑥インレットアダプターに⑭Oリング29mmを取り付け溝からズレない様注意し、シリンダーヘッド上に載せ、⑪小頭皿ネジ 6x15 で、規定トルクで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

⑪小頭皿ネジ 6x15

トルク：10N・m (1.0kgf・m)

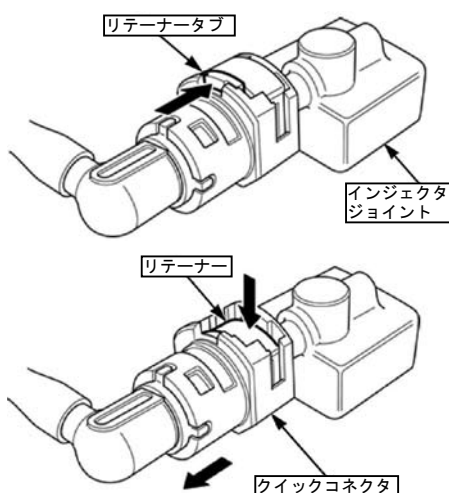


○固定した⑤アダプターの上に⑬ガスケットを合わせ、先ほど準備した①、②インテークマニホールドを⑩ソケットキャップスクリュー 6x16 を、規定トルクで固定します。仮止めしていた⑨ソケットキャップスクリュー 6x25 も規定トルクで固定します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
⑨、⑩ソケットキャップスクリュー
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○純正のインジェクタージョイントのクイックコネクタの接続を以下に従い、インジェクタージョイントから外す。
・クイックコネクタの周りをガソリンが出てくる為、ウェス等で覆う。
・リテーナータブを押し下げ、クイックコネクタをインジェクタージョイントから抜き取り、⑦インジェクタージョイントに交換します。



○純正インジェクターのOリング 6.3x2.2 が再利用出来るか確認し、⑦インジェクタージョイントに取り付けます。
※Oリングに劣化が見受けられる場合は新品に交換します。
※純正のダストシールリング（茶色）は再利用しません。



○純正インジェクターにシールリングが入っている事を確認し、②インテークマニホールドに差し込み、純正フランジボルト 6x22 で規定トルクで締め込みます。
※フューエルラインのクランプは使用せず取り回します。又必要に応じてフューエルラインに⑮クッションを貼り付けて下さい。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
純正フランジボルト 6x22
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



○エアクリーナーケースを逆手順で固定します。規定トルクで締め付けます。
コネクティングチューブより純正チューブバンドを取り外し、チューブには周り止めのリブがあるのでニッパー等で除去し⑧バンド 32-50/9 に交換し①ビッグスロットルボディーに接続し⑧バンド 32-50/9 を固定します。
○インジェクター、ファストアイドルソレノイド、吸気温度センサー、スロットルセンサーのコネクタ、ケースブリーザーを接続します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
エアクリーナーケース固定ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



○スロットルインナーケーブル 2本をスロットルドラムの指定の位置に接続し、スロットルケーブルブラケットにスロットルケーブルを取り付け、スロットルグリップの遊びが適正な範囲になる様にジャスターを回して遊び調整を行い調整後、ロックナットを締め付ける。遊び範囲：スロットルグリップフランジ部で 2mm ~ 6mm



○写真を参考にスロットルボディーカバーに純正スクリュワッシャ 5x14 を通し④ステーを動く程度に仮止めします。



○準備したスロットルボディーカバーをスロットルボディーケーブルブラケットと②インテークマニホールドにそれぞれ純正スクリュワッシャ 5x14 が上側、下側に⑫ソケットキャップスクリュー 5x8 でそれぞれ固定し最後に④ステーの箇所を規定トルクで固定します。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ソケットキャップスクリュー
トルク：5N・m (0.5kgf・m)



- 吸気圧力センサーのコネクタ部に③キャップ
Φ 19 を取り付けしメインハーネスと一緒に
①結束バンド 150mm で束ねます。
又イグニッションコイルのハイテンション
コードも干渉しない様に束ねます。
※吸気圧力センサーは再利用しません。



●アイドリング回転数の確認・調整

- 出荷時にアジャストスクリューの調整は行っておりませんが、車両の仕様や個体差により暖気運転後のアイドリング回転数が基準値に収まらない場合があります。
基準値に収まらない場合はスロットルプーリー下部のロックナットを緩め、アジャストスクリューにて調整を行って下さい。
- ・回転が低い場合
⇒アジャストスクリューを締め込む。
調整後、ロックナットを締め付ける。
 - ・回転が高い場合
⇒アジャストスクリューを緩める。
調整後、ロックナットを締め付ける。
- 基準アイドリング回転数 : 1400rpm ± 100rpm

⚠ 注意 : アイドリングの調整を行った場合は必ず
ハイパー ECU の方でスロットル
ポジションの調整を必ず行って下さい。
⚠ 警告 : 必ず換気の良い安全な場所で、十分注意
してエンジンを始動させる事。

- ・アイドルエアスクリュー標準開度
全閉状態から 3 回転戻し

- サービスマニュアルを参照し逆手順で
外装部品、マフラーを組み戻していきます。

